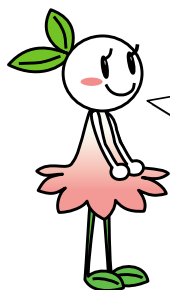


ごみの減量とリサイクルの推進に御協力下さい。



事業系ごみは、
40%以上に
なるのねえ。

〈表1〉（平成18年度）

全体ごみ処理量 16万トン	
家庭系 (58%)	事業系 (42%)
93,000トン	67,000トン

ごみ処理経費 **28億円／年**

「ごみ」と「資源物」 区別していますか？

“抜き打ち”で無作為抽出法により実態調査しています。



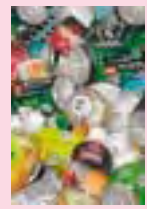
紙類(段ボール)



廃プラスチック



ペットボトル



右の写真は、本市清掃センターに運ばれた事業系ごみ実態調査の様子です。

紙類や廃プラスチック、ペットボトルなど、リサイクル可能な資源物が含まれております。

実態調査の状況

下記の表2は、実態調査で判明した事業系ごみの内訳です。紙類が24.62%、ペットボトル0.60%、廃プラスチック4.27%、合計約30%がリサイクル可能な資源物です。

さらに、廃プラスチック(ビニール包装類など)は産業廃棄物になりますので、本市清掃センターには搬入できません。事業系ごみの減量化、資源化及び適正処理に御協力下さい。

〈表2〉（平成18年度）

事業系ごみの内訳

